

やまぐちっ子学力向上だより

第148号 R6.6.14

山口県教育庁義務教育課

ポイントは〇〇！～ミドルリーダーレベルアップ研修より～

5月20日（月）、22日（水）に国語科・算数科・数学科の文部科学省視学官及び教科調査官を講師に迎えてミドルリーダーレベルアップ研修を実施しました。本号は、その講義の中から、各教科指導の授業改善のポイントを抜粋してお伝えします。

「何のために」という課題意識を、児童がもつことがポイント！

【小学校国語科】 大塚 健太郎 先生

- 現行の学習指導要領には、「学習過程の明確化」「考えの形成の重視」が位置付けられています。例えば、単にスピーチが上手にできることのみをめざすのではなく、意図や目的、相手に応じるなどして、どのような考えが形成されてスピーチが行われているかについても課題意識が向くように、指導事項の重点化を図っていくことが大切です。
- 自立した学習者を育てるためには、指導事項に照らしたうえで、子どもが取り組みたいと思えるような課題にしていくことが大切です。見通しをもち試行錯誤しながら学習課題に取り組んだ結果、その日は思うような成果が挙がらなかったとしても、その結果を肯定的に受け止め、「明日はどのように学習を進める？」ということ問える余裕が、教師にあるといいですね。

「子どもが見通しをもてること」「評価問題の目的を考えること」がポイント！

【中学校国語科】 鈴木 太郎 先生

- 子どもが見通しをもてるようにするために、学習課題を解決するにはどのようなことに取り組んでいったらよいかを考えさせる場面や、まずは子どもに取り組ませて何ができて何ができないかを自覚させる場面などを設定することが大切です。
- 授業改善を図っても、評価問題が改善されていなければ、改善された授業の必要性を子どもが感じられないかもしれません。評価問題を改善していく際には、「何のための評価問題なのか」「付けたい力は何なのか」を考えることが重要です。そのため、これまでの評価方法を見直し、柔軟に対応していく必要があります。授業中に覚えたことをアウトプットするためだけではなく、その授業で育成をめざす資質・能力の実現状況を見取ることができる評価問題が望ましいでしょう。

全ての子どもが「分かった」と言える授業をつくることがポイント！

【小学校算数科】 笠井 健一 先生

- 授業研究こそが、授業のマンネリ化から脱却するための教師の生命線です。その日の授業で何を大切にするか、子どもにどのような資質・能力を育成するかを焦点化することが大切です。本時のねらいを達成した子どもの姿を具体化し、子どもが達成したかどうかを確認できる適切な評価問題を作成することも大切です。
- 全国学力・学習状況調査で正答率が93%の問題があったとしても、学級の7%の子どもは分からないということを表しています。分からない子どもの存在に目を向け、説明させる、再現させる、隣の児童と確認させる、図や表に書き加えさせるなど、全ての子どもを取り残さないようにすることが大切です。

「どのような力を付けさせたいのか」を明確にすることがポイント！

【中学校数学科】 水谷 尚人 先生

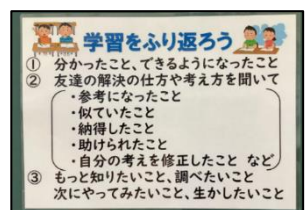
- 「問いを見付け、広げ、深める力」「自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力」「数学の世界での思考を、現実の世界に結び付ける力」「数学を使って、現実の問題を解決する力」などが、今、求められています。全国学力・学習状況調査の解説資料の趣旨を読むと、今、求められる学力が分かるようになっていきます。
- 授業を通して、子どもに「どのような力を付けさせたいのか」「その力は、どのような場面で使えるものなのか」を明確にして、日々の授業を構想していただきたいと思います。また、全国学力・学習状況調査の問題を、子どもの実情に応じて、アレンジをして授業を実践していただきたいと思います。

R5 授業力向上実践指定校事例発表

本研修会では、昨年度の授業力向上実践指定校の中から、2校の先生の発表がありました。

萩市立椿東小学校の松原麻衣子先生からは、「学びを実感できる振り返り」の取組について発表していただきました。この取組の特徴は、「自分の考えがどう深まったり、広がったりしたのか」という視点に着目して、子どもが自己の変容を実感できるように、学年ごとに振り返りの視点が整理されていることです。また、下関市立東部中学校の安永朋広先生からは、「子どもが学び合う補充学習」の取組について発表していただきました。この取組の特徴は、全ての子どもの学力の定着を図るために、子どもの理解度と希望を踏まえて5つのクラスに分け、個に応じた学び直しの時間が設けられていることです。

2校以外の指定校の取組についても、県のホームページにも掲載しており、指定校の昨年度の公開授業の様子等が右の二次元コードから見られるようになっていきます。各学校での授業力向上の推進に向けて、ご活用ください。



【椿東小学校の6年生の振り返りの視点】



【東部中学校の補充学習の様子】

